

2025年7月1日

株式会社山口フィナンシャルグループ

第19期定時株主総会 事前質問へのご回答

2025年6月27日に開催いたしました当社第19期定時株主総会に先立ち、株主さまよりお寄せいただいた事前質問のうち、株主総会の目的事項に関連するご質問への回答を同株主総会にて行っており、ここにご紹介いたします。

なお、今回お受けしたご質問に関しては、個別に回答をいたしかねますのでご了承ください。

また、株主総会および以下にて取り上げなかったご質問につきましては、今後の参考とさせていただきます。

【質問①】

東京証券取引所からPBR1倍への改善要請が出ている。PBR1倍について、会社として達成しなければならない基準と考えているのか教えてほしい。

【回答】

現状の当社株価から算出したPBRは0.5～0.6倍程度であり、東証からすべての上場企業に対して「資本コストや株価を意識した経営の実現」を求められているなか、現状の当社の株価水準はマーケットから十分評価されているわけではないものと考えています。

株価は、マーケット環境にも大きく左右されるため、株価の絶対水準に目標は設定しておりませんが、当社の企業価値向上につながるよう、PBR1倍・株価を意識した経営を引き続き実践してまいります。

【質問②】

総自己資本比率の計算式を提示してほしい。また、この2年連続、総自己資本比率は低下しており、僅かながらとはいえ低下することは望ましくないため、維持・改善を図ってほしい。

【回答】

銀行の自己資本比率は、一般的な自己資本比率とは異なる計算式で算出されています。これは自己資本比率規制に基づくものであり、計算式は「総自己資本比率＝自己資本÷リスクアセット×100」です。

ここでの自己資本とは会計上の純資産額をベースに一定の加減算を行ったも

の、リスクアセットとは銀行が保有する資産に信用リスクや市場リスクなどのリスクを考慮に入れたものです。

ご質問のとおり、直近2年の総自己資本比率は低下しておりますが、資本の有効活用という観点で、資本効率を考慮し、企業価値向上に向け積極的なリスクテイクや株主還元を行ってきた結果であり、前中期経営計画で掲げた「総自己資本比率12%程度」に向けてコントロールした数値です。この水準であればストレス下においても一定の健全性を維持できると考えております。

また、2025年度からスタートした中期経営計画における自己資本比率目標は「普通株式等 Tier1 比率 (CET1 比率) (※) 11.5%程度」としております。これは、より中核的な資本である CET1 資本を分子にした自己資本比率です。2024年度末の CET1 比率は11.4%であり、CET1 比率については今後維持・改善させていくことを想定しております。

※ 普通株式等 Tier1 比率 (CET1 比率) = 普通株式等 Tier1 (CET1) ÷ リスクアセット × 100

【質問③】

今期の業績予想について、前提としている金利水準を教えてください。

【回答】

今期の業績予想において前提としている金利水準につきましては、今年度中に0.50%から0.75%へ、0.25%の利上げを1回見込む計画としております。

【質問④】

人口減少が進む中、後継者不足から閉業をやむなくされる事業者へのサポート活動に取り組まれているのでしょうか。

【回答】

弊社では、地域の事業承継課題の解決を目的として、2019年より日本で初めてとなるサーチファンド事業に取り組んでおります。

サーチファンドとは、後継者不在に悩む事業者様に対して、経営者を志す個人(サーチャー)を経営者候補としてご紹介し、後継者と株の課題を解決する仕組みであり、これまで累計9件の事業承継を実現しております。

また、新中期経営計画で掲げております「地域課題解決のプラットフォームへの進化」及び「同舟共命型ビジネスモデルの確立」に向けて、これまでの融資を中心とした事業者様の側面支援だけではなく、エクイティの提供や各種ソリ

ューションを複合的に組み合わせた総合的なご支援により、後継者不在の事業者様に対しても、引き続き事業成長を目指していただけるよう、取り組みを開始しております。

【質問⑤】

企業組織のヒエラルキーの下位に位置する社員には組織の矛盾のシワ寄せが生じ、職場環境が整備されていないと当該社員による成果物の品質にも影響を与えらると思われませんが、そういった職場環境の課題に関して、どのような体制や対策を講じているのでしょうか。

【回答】

弊社では、社員が感じる矛盾を排除するため、社員の意見への傾聴強化や組織への反映のため、社員とFG社長のダイレクトチャネルとなる「マイ・ボイス制度」や、業務改善提案制度「マイインプルーブメント」を整備するとともに、FG社長と各銀行頭取が社員と直接対話する「タウンホールミーティング」を継続的に実施し、現場社員と経営・本部のコミュニケーションの活性化を図っています。「タウンホールミーティング」については、2025年度も6月以降実施しており、新中期経営計画をテーマに対話し、相互理解および考え、想いを共有することに努めております。

この様な取組により、2021年より毎年実施している社員意識調査において、社員が感じている「会社へのロイヤルティ」は向上しており、引続き、「社員の働きやすさ」・「働きがい」の向上を重視した経営を行ってまいります。

【質問⑥】

金利を上げる予定はありますか。

【回答】

預金や貸出金の金利変更予定につきましてご回答はできかねますが、今後も政策金利の変動等の状況も踏まえ、適時適切に対応してまいります。預金金利については個人向けの定期預金で、「おまとめ定期」という金利優遇商品も6月13日に発売しましたので、ぜひご検討いただければと存じます。

【質問⑦】

私は鹿児島に住んでいるのですが、何か遠方からでも御社を応援できるプランがありませんか。山口まで行き、通帳を作る事ができません。

【回答】

遠方にお住まいでありながら、弊社を応援したいというお気持ちに、心より感謝申し上げます。

弊社グループ銀行である、山口銀行・もみじ銀行・北九州銀行では、山口県・広島県・福岡県を中心とした広域な営業エリアでの活動を行っておりますが、口座開設等については昨今の金融犯罪防止等の観点から支店近隣にお住いの方としてお願いしております。

今後は、より広い地域の皆様にも弊社サービスをご利用いただけるように、インターネットを活用したサービスのご提供も検討しております。

【質問⑧】

昨今、郵送封筒の窓がビニールの会社はほとんどない。捨てる時分別に面倒なので、グラシン紙に変えてください。

【回答】

こちらは株主総会招集ご通知をお送りした際の封筒についてのご意見と承ります。地球環境へ配慮される株主さまが多くおられることと存じますので、次回以降、グラシン紙など、環境に配慮した封筒への変更を進めてまいります。

当社といたしましては、株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、企業価値向上に向けて取り組んでまいり所存です。今後とも株主の皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上